

教育研究業績

芸術学部芸術学科音楽領域

氏名	長江 和哉	職名	准教授
教育活動	[学部] 録音音響デザイン研究, 録音音響デザイン実習 I, 録音技法 III, サウンドメディアプロジェクト		
学位	学士(芸術)(名古屋芸術大学)		
学歴	平成8年3月 名古屋芸術大学 音楽学部 声楽科 卒業		
職歴	平成18年4月 名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科 講師(平成26年3月まで) 平成24年4月 名古屋芸術大学海外研究員(ドイツ・ベルリン)(平成25年3月まで) 平成26年4月 名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科 准教授(平成29年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科音楽領域 准教授(現在に至る)		
専門分野	音楽録音		
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの音楽大学で録音プロデューサー・エンジニアを育成するトーンマイスター教育についての研究調査 ・音楽を録音する際のマイクの配置と音質の関係について ・音楽録音の実践 		
	<p>[論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メインマイクの物理的な設置パラメータと音質の関係について」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第33巻(平成24年3月) ・ドイツにおけるトーンマイスター教育とその考察—ベルリン芸術大学の事例より—(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第34巻(平成25年3月) <p>[学会発表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「録音教育のためのオーケストラ楽器のマイクロホンアレンジ比較収録について」 2018 AES International Conference on Spatial Reproduction (平成30年8月) ・「ドイツのトーンマイスター教育とクラシック音楽の録音事情について」 AES Audio Engineering Society 日本支部例会4月例会(平成25年4月) ・「ドイツでのクラシック音楽録音やラジオ中継の現状」 AES Audio Engineering Society 日本支部例会5月例会(平成平成30年5月) <p>[講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドイツのトーンマイスター教育と録音について」 AES (Audio Engineering Society Japan Section) 日本支部例会(平成25年7月) ・「その音楽にとって最もふさわしく録音すること」 一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団 第31回研究助成講演会(平成29年1月) ・「欧州で高まるコンサート配信の取り組み」 愛知県芸術劇場 劇場職員セミナー2016(舞台技術コース)(平成28年1月) ・「ドイツでのクラシック音楽録音や中継の現状」 AES(Audio Engineering Society Japan Section)日本支部例会(平成30年5月) <p>[録音教育用比較音源の制作]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オーケストラ楽器のマイクアレンジの比較収録」(ベルリン芸術大学 教授 Thorsten Weigelt氏との共同研究) http://soundmedia.jp/nuaudk/ <p>[寄稿]</p> <p>「プロサウンド」(ステレオサウンド発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーベルス ベルク・フィルム・スタジオを訪ねて2015年4月号 Vol.186(平成27年4月) ・ オランダ・ポリヒムニアを訪ねて2016年2月号 Vol.191(平成28年2月) ・ 名古屋芸術大学2016トーンマイスターワークショップ 2016年10月号 Vol.195(平成28年10月) ・ クラシック音楽の録音哲学 part 1・2017年4月号 Vol.198(平成29年4月) 		

<p>教育研究業績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽の録音哲学 part 2 2017年6月号 Vol.199 (平成29年6月) ・ベルリン・フィルハーモニーからのサラウンドラジオ生中継・2017年8月号 Vol.200(平成29年8月) ・スウェーデンのクラシック音楽レーベルBIS2017年10月号 Vol.201 (平成29年10月) ・セイジオザワ松本フェスティバルのライブレコーディング2018年1月号 Vol.202(平成30年1月) ・クラフトワークDOLBY ATMOSとHEADPHONE SURROUND 3D制作2018年3月号 Vol.203 (平成30年3月) ・ハンブルクエルブフィルハーモニーからのラジオ中継2018年4月号 Vol.204(平成30年4月) ・加藤訓子スティーヴ・ライヒ「ドラミング」パフォーマンス2018年6月号 Vol.205(平成30年6月) ・びわ湖クラシック音楽祭歌劇「デイドとエネアス」のSR2018年8月号 Vol.206 (平成30年8月) ・クルトゥアパラストドレスデンでのレコーディング2018年10月号 Vol.207 (平成30年10月) ・「JASジャーナル」(一般社団法人 日本オーディオ協会 技術機関誌) ・欧州のトーンマイスター教育について(1)・2016年3月1日発行 通巻 439号(平成28年3月) ・欧州のトーンマイスター教育について(2)2016年5月1日発行 通巻 440号(平成28年5月) ・トーンマイスターコンベンションと教育の現状2017年3月1日発行 通巻 445号(平成29年3月) ・名古屋芸術大学3Dオーディオワークショップレポート2018年10月1日発行 通巻 445号 (平成30年10月) <p>[WEBページ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベルリンでのオーケストラ・サラウンドレコーディングについて サウンド寺子屋(平成25年10月) ・ラーデベルクでの教会音楽のサラウンドレコーディングについて サウンド寺子屋(平成25年11月) ・イエスキリスト教会でのサラウンドレコーディングについて サウンド寺子屋(平成25年12月) ・トーンキョウストラ管弦楽団のレコーディングについて サウンド寺子屋(平成28年3月) ・ピアノ アダム・ラルーム氏 山田和樹氏 指揮ベルリン放送交響楽団 レーベルゲート (平成30年2月) <p>[音楽録音の実践]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・kuniko plays reich/Kuniko Kato, Linn Records CKD 385 Steve Reich Vermont Counterpoint Version for Vibraphone ・Xenakis: IX / Kuniko Kato, Linn Records CKD 495 Iannis Xenakis Pleiades, Rebonds ・R. シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ作品18 ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」/ 大谷 康子 イタマール・ゴラン SONY SICG-1771 ・秋山和慶のブラームス・ツィクルス 中部フィルハーモニー交響楽団/秋山和慶 ・「飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラコンサート2013」、2017、2018 ・セントラル愛知交響楽団 ヒンデミット／ヴァンデルロースト／R. シュトラウス：ロマンス クラリネット協奏曲集(エディ・ヴァノオーストハーゼ /セルヒオ・ロサレス), Naxos <p>[クラシック ライブ・セッションレコーディング]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部フィルハーモニー交響楽団 ・飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラ ・東京都交響楽団 ・大阪交響楽団 ・ストリングカルテット響 ・マスターズ・ブラス・ナゴヤ 他 <p>[ジャズ セッション・ライブレコーディング]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田勉カルテット ・C.U.G Jazz Orchestra ・TRISPACE ・後藤浩二・小林美千代・榊原洋子・島田剛・浜崎航・早川ふみ・平光広太郎・水野修平・森永理美 <p>[ワールドミュージック]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜多直毅クアルテット ・三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanz
<p>所属学会 団体等</p>	<p>特になし</p>
<p>社会的活動</p>	<p>一般社団法人 日本オーディオ協会主催 学生の制作する音楽録音作品コンテスト 審査員</p>

その他	<p>音楽録音の顕彰 1.第21回日本プロ音楽録音賞 主催 一般社団法人 日本オーディオ協会 部門D「2ch ノンパッケージ」部門 最優秀賞受賞 「飛騨高山ヴィルトーゾオーケストラコンサート2013」</p> <p>研究助成 一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団 平成28年度研究助成 音楽振興部門 名古屋芸術大学サウンドメディアコースとベルリン芸術大学トーンマイスターコースにおけるマイクア レンジ比較音源の開発</p>
-----	---